

夏の暑さも少しずつおさまり、もうすぐ待ちに待った運動会。子供たちは、園庭やホールで毎日運動会の練習に励んでいます。たくさん体を動かして汗をかくので、着替えとタオルは忘れずに持たせてください。園でも水分補給や怪我防止に十分気をつけていきます。10月16日は、内科健診です。後日、健診票を配布します。

10月10日は 目の愛護デー

生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの1.0くらいになるのが、6歳ごろと言われます。子どもは視力に異常が生じて、自分で症状を訴えることは難しいこと。気になる様子が見られたら、眼科を受診しましょう。

こんなときは心配です

- 目を細めて見る
- 片目で見ると
- 顔を傾けて見る
- まぶしがると
- いつも涙ぐんでいる
- まぶたが下がっている

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症にかかると、激しいせきが出て呼吸が苦しくなります。年長児は、それほどひどくありませんが、夜になってせきが急に悪化することがあるので注意しましょう。呼吸困難を起こすと命にかかわることもあるので、下のような様子が見られたら朝を待たず、急いで受診してください。

呼吸困難のサイン

- ひどくせき込んで唇や顔色が青い
- 息をすると胸の上部がべこべこする
- 肩を大きく上下させて息をする
- 呼吸が荒く、顔や手足が冷たい
- 呼吸が速く、息をするとき鼻の穴が広がる

インフルエンザが 流行する前に注意!

予防のために出来ること

- ① 予防接種を受ける。(10月頃から早めに)
- ② 外から帰ったら、必ずうがいと手洗いをする。
- ③ 栄養のある食事と、水分をしっかりとる。
- ④ 室内の湿度は、60%くらいに保ち、こまめに換気する。
- ⑤ 出来るだけ人込みを避ける。
- ⑥ たっぷりの睡眠も大切です。

9月の感染症情報

県内では、RSウイルス感染症の発症が多く報告されています。この感染症は年齢を問わず何度も感染しますが、2歳までに少なくとも一度は感染、発病するといわれています。初めて感染した場合は重症化傾向にあるようです。長引く微熱や咳、息苦しうにゼイゼイ、ヒューヒューと呼吸をして顔色が悪いときは、早めに受診しましょう。インフルエンザの発症も宮崎市内で報告されています。昨年は、当園でも1月から急激に流行しました。今年は、早めに加湿器を設置し、園児・職員ともに石鹸での手洗い・うがいを徹底し、発症状況の報告、室内の消毒を確実に行っていきます。